



田中保美 議員

左馬公園や万灯呂山展望台の トイレ整備を

辻井建設課長

上水道整備が困難
現時点で計画はない

問 万灯呂山展望台、
谷川ホタル公園、玉川
さくら公園、左馬ふれ
あい公園の年間利用者
数は。

レ化の考えは。

答 管理者がいない
オープンスペースの公
園のため、利用者数は
把握していない。

問 左馬ふれあい公園
へのトイレ設置、万灯
呂山展望台の水洗トイレ

答 利用状況や住民

ニーズを確認し、環境
の変化や時代のニーズ
に対応した公園整備の
あり方について調査・
研究していく。



観光資源となっている玉川さくら公園

遊歩道やテントサイトの整備を

辻井建設課長

今後調査・研究する

問 まちづくりセン
ター椿坂の年間利用者
数は。

答 令和6年度は2,
420人。

問 本町を広くPRす

るため玉川周辺を利用
して、遊歩道やアウト
ドア用のテントサイト
等を整備する考えは。

答 アウトドア用のテ
ントサイトを含め、ど
のような土地利用をす
れば、魅力的なエリア
となり、賑わいの創出
につながるのか、調査・
研究していく。

答 「玉川さくら公
園」の堤防沿いや玉川
右岸の通路を遊歩道と
しての利用できるよう
検討。
案内看板の設置も検
討。



玉川や史跡のすぐそばにあるまちづくりセンター椿坂



鎌田 隆宏 議員

クマ出没時の対応は

奥山産業環境課長
辻井建設課長

追い払いや捕獲、緊急銃猟の
対応を判断

問 今回のクマ出没時の対応は。

答 クマらしき動物の目撃情報があった際には、防災行政無線による放送、町ホームページへの掲載、井手町LINEへの通知、区長や保育園、児童館、小・中学校、府立井手やまふき支援学校等の関係者への連絡、町内

問 市街地にクマが出没した際の対応は。

答 本年9月より、安全確保等の条件下で、市町村が委託した者による緊急銃猟が可能となった。

問 出没したクマの捕獲や駆除の対応の考えは。

答 被害状況等に応じて追い払いや捕獲、緊急銃猟の対応を判断する。



8月にツキノワグマらしき動物が目撃されました

※緊急銃猟とは：

クマやイノシシなどが、人の生活圏に侵入し、人身被害の危険性が高い場合に、市町村長の判断によって、委託したハンターが銃猟を使用して捕獲する新しい制度です。

コンビニ納付の状況は

木田税務課長
高江企画財政課長
花木住民福祉課長

令和3年度から
コンビニ納付を開始

問 コンビニで納付できる町税及び料金は。

答 町府民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、保育料、上下水道料が

問 納付件数と利用率

答 令和3年度は5102件、21・2%、令和6年度は7725件、32・3%と利用件数・

利用率ともに増加傾向。

問 コンビニ納付の際にスマートフォン決済アプリ等は使用できるか。

答 住民票及び印鑑登録証明書。

問 今後取得できる証明書等の拡充予定は。

答 具体的な開始年月は未定であるが、所得証明書及び軽自動車税の納税証明書の発行が可能となる予定。

答 地方税統一QRコードが印字された納付書については、スマートフォン決済アプリ、クレジットカード、インターネットバンキング等についても納付可能。



コンビニでは都合の良い時間に支払い可能です



脇 本 尚 憲 議員
わき もと たかのり

「井手町公式LINE」の双方向活用は

高江企画財政課長

前向きに検討したい

問 「井手町LINE公式アカウント」の現在の登録者数は。

広報いででの周知のほか、庁舎、図書館等、フレッシュバザール井手店にQRコードを記したチラシを配架。

答 9月1日現在で572人。

問 登録者数を増やす取組は。

答 町ホームページ、やり取りで、様々な行

政サービスを提供する考えは。

答 双方向での活用は住民の利便性向上に有効と考え、先進事例なども確認しながら、前向きに検討したい。



様々な行政情報が入手できる町公式LINE

山城多賀駅前未開発エリアの今後は

西島町長
奥山産業環境課長

企業の誘致に取り組みたい

問 「イデフル」開業に伴う経済効果は。

デフル内の全店舗で136人、うち井手町在住の方は28人。

答 令和7年度の固定資産税・都市計画税は約1500万円の税収が見込まれ、令和6年度の法人町民税は約1000万円。雇用は8月20日現在で、イ

問 「イデフル」と共同で町のPRイベントを開催する考えは。

答 広い駐車場があるため、地域住民にとっても有意義なイベントを検討したい。

問 山城多賀駅前の未開発エリアの今後の展開は。

答 都市計画マスタープランでは、商業的な土地利用区域と位置付け、新名神など周辺道路整備の進展や駅前という立地を生かし、持続的な発展に資する企業の誘致に取り組みたい。



早期開発が期待される山城多賀駅前の未開発エリア



岡田久雄議員

「こども家庭ソーシャルワーカー」の導入は

掘こども家庭センター所長

近隣自治体の動向を 注視し研究

問 子どもの虐待等の現状と改正児童福祉法の取組や支援は。

答 府内児童相談所の受理件数は令和6年度2609件で、実の親からの虐待が9割以上。本町では、これまでから、妊婦に対する面接や訪問、赤ちゃん訪問、乳幼児健診や育児相談等の支援を行っている。

問 関係機関との連携や情報共有など、町としての体制は。

答 こども家庭センター、保健センター、保育園、学校、医療機関、障害児相談支援事業所、保健所や児童相談所等との連携を密にし、ケース会議を開催するなど、協働して支援を行っている。

業所、保健所や児童相談所等との連携を密にし、ケース会議を開催するなど、協働して支援を行っている。

問 子育てにおけるソーシャルワーカー事業の導入は。

答 中核的な役割が期待されている



今後導入が研究される「こども家庭ソーシャルワーカー」

空き家の管理問題の対応は

高江企画財政課長
木田税務課長

状況等を見ながら、 適切に対応

問 空き家の管理等に関して、所有者と連携は。

答 ホームページや啓発チラシにより、適切な管理を呼びかけている。また、文書や電話等により、管理の改善を求めている。

問 「空家対策特別措置法」が示す内容及び行政代執行の事例は。

答 「第2期井手町空家等対策計画」において、助言・指導・勧告・命令の措置の後、行政代執行の措置を行う。本町で行政代執行の事例はない。

問 相続放棄された空き家への対策は。

答 行政代執行、略式代執行、緊急代執行がある。それぞれの空き家の状況等を踏まえて対応する。

問 罰則の対象となつた場合、固定資産税の軽減措置は。

答 勧告されると住宅用地特例の対象から除外され、税額が上がることとなる。



雑木におおわれる空き家



木村 健太 議員

新たな防災訓練の導入は

菱本安心・安全推進課長

避難所運営訓練などを検討

問 例年とは異なる新たな訓練内容やアイデアの考えは。

所運営訓練などを検討している。

答 長年訓練内容に変化が見られないとの意見を参考に、ドローンを活用した被害調査をはじめ、パーティションテントや簡易ベットなども使用した、自主防災組織主導型の避難

問 体育館などでの、避難所宿泊体験等の訓練の導入は。

答 IDEゆうゆうスポーツクラブが実施している宿泊体験等と連携が可能か調整中。

問 直近3年間の消防団員の減少数は。

	団員数	増減
令和5年度	205	△1
令和6年度	201	△4
令和7年度	196	△5

問 各地域に合わせた防災訓練の必要性の考えは。

答 本町の防災訓練では、危険箇所や避難経路など、地域住民の意見を反映したマイ防災マップを活用した訓練を実施。地域の実情に合わせた訓練を今後も実施したい。

問 防災訓練以外で町民の防災・危機意識向上の取組は。

問 災害報告等に「井手町LINE公式アカウント」を活用する考えは。

答 風水害と地震が別々であったハザードマップを一冊の防災ハザードマップにまとめた。本年4月に全戸配布し防災・危機意識の向上に取り組んでいる。

答 町からの情報発信がメインだが、災害時の情報提供・共有は非常に重要なことから、先進事例なども確認しながら検討したい。



消防団員が年々減少しています！



平時から防災意識を高めよう！



谷田健治議員

町職員の熱中症対策は

平間総務課長

周知・対策に努めている

問 本町で国の「労働安全衛生規則の一部改正」の対象となる作業と従事する職員数は。

給食の調理に9名。

問 早期発見のための体制は。

答 除草作業1回につき建設課から2、3名、

ゲートボール場や井手町デイサービスセンター付近の除草作業に高齢福祉課3名、ごみ収集運搬業務に環境衛生センター4名、学校

問 関係業者への周知

答 熱中症の疑いがあると発見した場合、作業から離れ休息し、所属長へ連絡。重篤化を防止する連絡体制を整えている。

問 設置の場合
合マイボトル
対応の機器を

答 施設利用の際は飲料を持参か、自動販売機等での購入を案内。



ウォータークーラーの設置例

問 外国人にもわかる

答 現在のところ、「やさしい日本語」に翻訳することは困難であると考えている。

知は。

答 熱中症警戒アラートの情報なども確認しながら、各所属職員間にて周知を図っている。



町給食センターのスポットクーラー

クーリングシエルトアーに 給水機の設置は

奥山産業環境課長

現在は考えていない

問 クーリングシエルトアーに給水機・ウォータークーラーの設置の考えは。

設置すべきでは。

答 現在は考えていない。緊急の申し出の際は、必要に応じて職員が水を提供する。

外国人の方への対応は

平間総務課長
高江企画財政課長
菱本安心安全課長

多言語サービスを案内

問 緊急情報は外国人にもわかる内容に改善すべきではないか。

「表示」が公共施設に必要ではないか。

答 国が提供する災害情報アプリなど多言語サービスを案内。緊急情報などについて周知してもらえよう、連携を図りたい。

答 庁舎は日本語表記の下に英語にて表記し、エレベーターや授乳室等は、文字に頼らないピクトグラムにて表示。

※「やさしい日本語」とは…

普段使われている言葉を、外国人にもわかるように配慮した、簡単な日本語のことです。

（例）高台に避難してください。

↓高い場所へ逃げてください。

二学期から小学校体育館に

空調設備が設置されます

委員長 脇本 尚憲

8月25日に、現在整備工事が進められている井手小学校体育館の空調について、委員全員で現地視察を行い、進捗状況を確認しました。

現在空調の設置は完了し、ボールなどが当たって破損しないように、カバーを取り付ける作業が行われていました。

室外機についても、これからフェンスの設置を行う予定との説明があり、多賀小学校の体育館も同様に、8月末には完成予定のことでした。

委員からは設置台数や送風機の設備内容、天井の断熱材の有無や室外機の音の問題、ランニングコストについても質問がありました。



夏休み中に工事が進められました

国道24号バイパスへの

アクセス道路等について

委員長 鎌田 隆宏

9月3日に、委員会を開催し、町道29号線工事の進捗と国道24号バイパスへのアクセス道路について、行政側から説明を受けました。

町道29号線は、京都府立井手やまぶき支援学校への登校路線で車道・歩道整備を行い、車両と通学児童や歩行者の安全な通行を確保するものです。

委員からは完成時期や周辺道路の通行止めなどの質問がありました。

国道24号バイパスへのアクセス道路は、井手・多賀地区において、各3か所計画されています。

バイパスの開通には、まだ時間がかかるそうですが、安全に、少しでも早く開通することが期待されます。



工事の進捗について説明を受けました

会議の理想形である

「昼休みのサッカー」をめざすために

産業厚生常任委員長 鎌田 隆宏

8月22日に、自治会館ホールで開催された研修会に、谷田利一議会運営委員長、脇本総務文教常任委員長と出席しました。

特定非営利活動法人テダス代表理事 高橋博樹氏の講演で、「わくわく議会の作法」これからの楽しい社会のあたりまえ」をテーマに、楽しく誰もが意見を話せる、誰も傷つかない会議の方法を学ぶものでした。

会議では、ファシリテーター（進行役）の役割が有効で、その考えを広め、活発な意見が出る会議を行う事が出来れば、地域の活性化につながるのでは、と言うものでした。

スムーズなファシリテーターが増え、審判のいない誰でも楽しめる「昼休みのサッカー」の様な会議が出来れば、理想形です。



会議の方法を学びました

市町村議会広報研修会

目的を考えて実現し

評価・改善する議会報づくりを

委員長 鎌田 隆宏

8月29日に、ANAクラウンプラザホテルで開催された研修会に木村議員と出席しました。

自治体広報広聴研究所の金井茂樹氏から、「戦略的広報と議会報づくりの形」の講演と議会広報誌クリニックを受けました。より良い地域社会の実現には、地域課題を解決し、より良い政策・施策・事業を行うには、住民と議会との信頼・協働関係を作っていく。

議会広報活動では、情報の受け手となる住民の方に、関心・認知・理解・納得・参加・

参画してもらえ

るように、意識

を変えてもらう

という研修でし

た。



研修会場にて

市町村長等・市町村 議会議員特別セミナー 研修報告

地域の魅力を引き出すために

田中 保美

7月28～29日に、全国市町村国際文化研究所で開催され、議会から3名で参加しました。

1日目は、神戸市長の久元喜造氏から、『真の意味での持続可能な都市を目指して』の講義があり、次に、文芸評論家の三宅香帆氏と小説家の宮島未奈氏から、『地域の魅力を引き出す文学の力』の講義がありました。

2日目は、國學院大學神道文化学部教授の松本久史氏から、『明日を生きるために』の講義があり、次に、株式会社ブック会長の樋口聖典氏から、『みんながやりたい場所をつくる廃校活用施設』の講義がありました。

自由である

ために多様性

が必要である

という考えが

印象に残りま

した。



行政課題について学びました

市町村議会議員研修報告

政策実現のための条例提案に向けて

鎌田 隆宏

8月18～20日に、全国市町村文化研究所で行われた「地方議員のための政策法務」の研修会に参加しました。

1日目は、新潟大学副学長 穴戸邦久氏から「地方議員と政策法務」について、関西学院大学教授 小川大和氏から「法務執行の基本」について、講義がありました。

2日目は、条例立案の演習について、グループごとに割り当てられたテーマによって取り組みました。今回のテーマは「地域支え合い活動推進」でした。

3日目は、各グループの発表で、他の議員からの質問や講師からの講評がありました。

「ハラスメント条例」や「議会基本条例」は、そのまま持ち帰って使え、「地域支え合い活動推進条例」

は、着眼点

が独創的で

話されていた

ました。



グループ演習に取り組みました

議会の主な公務（令和7年7月から9月まで）

7月分

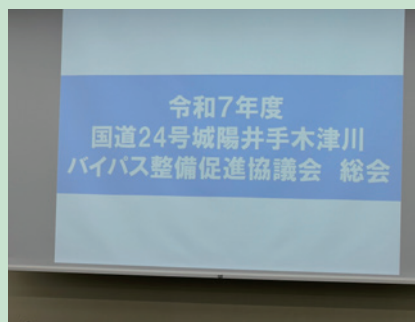
日	曜日	公務内容	出席議員
7月1日	(火)	井手地区「社明運動」駅前啓発	奥田議長
7月10日	(木)	井手地区「社明運動」綴喜地区研修大会	奥田議長
7月11日	(金)	井手町立学校給食センター運営委員会	谷田利一副議長・脇本議員
7月23日	(水)	京都府町村議会議員研修会	全議員対象
7月24日	(木)	例月監査	岡田議員
7月29日	(火)	井手町開発審議会	脇本議員・鎌田議員
7月31日	(木)	京都府後期高齢者医療広域連合議会（全員協議会）	木村議員

8月分

日	曜日	公務内容	出席議員
8月1日	(金)	井手町民生委員推薦会	奥田議長・谷田利一副議長
8月4日	(月)	令和7年第3回議長会議	奥田議長
		京都府高速道路網整備促進協議会 令和7年度総会	奥田議長
8月7日	(木)	京都府後期高齢者医療広域連合議会（8月定例会）	木村議員
8月8日	(金)	町村議会広報編集正副委員長研修会	鎌田議員・木村議員
8月20日	(水)	例月監査・決算審査（～8/25）	岡田議員
8月22日	(金)	議運・常任委員長研修会	谷田利一副議長・脇本議員・鎌田議員
8月25日	(月)	国道24号城陽井手木津川バイパス整備促進協議会 令和7年度総会	奥田議長
8月27日	(水)	府政懇談会	奥田議長
8月29日	(金)	市町村議会広報研修会	鎌田議員・木村議員
		京都府地方税機構議会8月定例会（全員協議会）	小割議員

9月分

日	曜日	公務内容	出席議員
9月4日	(木)	井手町国民健康保険運営協議会（令和7年度第1回）	奥田議長
9月5日	(金)	井手町交通対策協議会	奥田議長・谷田利一副議長
9月22日	(月)	交通安全運動街頭指導	奥田議長・谷田利一副議長・脇本議員・谷田健治議員・木村議員
9月29日	(月)	城南衛生管理組合議会 議会運営委員会	岡田議員
9月30日	(火)	交通安全運動街頭指導	岡田議員・田中議員・小割議員



いでたんが聞く

新米記者いでたんが町に出かけて、
まちのこといろいろ聞いてみます。

井手地区子ども見守り隊の小川榮太郎隊長に
お話を伺いました。



いでたん



子ども見守り隊とは

地域住民やPTA、教職員が連携し、子どもたちの安全を守るボランティア組織です。

平成18年に、多賀地区、井手地区それぞれ活動団体が発足し、現在は井手地区で58名、PTA隊員を含めると143名が活動しています。

活動を通じて感じたことは

活動者自身の安全確保も大切だと呼びかけています。

また今後は、高齢者中心の活動から、多様な世代が参加しやすい「ながら見守り」や「声かけ・挨拶」等をさらに広め、隊員のすそ野を拡大していくことが目標です。また、より多くの人々が無理なく見守り活動に参加できるように、警察や学校など関係機関との連携を強化し、地域全体で子どもたちを守る体制を築くことを目指しています。

是非この機会にご入隊をお願いします。「具体的な見守り活動」や「ながら見守り」などの質問も、気軽にお声がけください。

主な活動を教えてください

登下校時の見守りや不審者への声かけ、危険箇所のチェックなどです。

また、子どもが犯罪被害に遭うことを未然に防ぎ、地域の子どもの安全と健やかな成長を支えることを目的としており、京都府警と連携し、散歩や買い物のついでに子どもたちを見守る「ながら見守り」も推進しています。

子どもは自ら危険を回避する能力が低く、一度被害に遭うと本人や保護者だけでなく、社会全体にも大きな影響を与えるため、被害をゼロにすることを目指しています。

最後に、小川隊長にこっそり聞きました

●座右の銘は…

「至誠にして、ものごと筋を通す」

●休日の過ごし方は…

郷土史家として、地域の歴史や古典文学を次世代に継承する活動にも情熱を注いでいます。

●趣味は…読書・地域誌研究

ご協力ありがとうございました！！